

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	5184
部名	学校教育部	課名	指導課		課長名	小塚 牧夫
事務事業名	部活動技術指導者派遣業務					
予算上の事務事業名	部活動技術指導者派遣業務					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14123		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度	
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				平成9年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	中学校部活動技術指導者派遣事業実施要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名				指導者不足に起因する部活動の沈滞化を防ぐため、地域の人材等による技術指導者を派遣し、部活動の一層の活性化を目指す。		
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)			▼		
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
指導者不足に起因する部活動の沈滞化を防ぐため、地域の人材等による技術指導者を派遣し、部活動の一層の活性化を目指す。				(2) 対象(誰、何)		相模原市立中学校全27校
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
各学校から上がってくる技術指導者の推薦を受け教育長名で技術指導者を委嘱し、指導は1回二時間とし、1回につき3000円の謝礼を支払う。派遣回数は、1中学校につき、予算の範囲内で教育委員会が定める回数とする。						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	15,519	15,625	13,931	14,595	14,595	
一般財源	11,209	11,361	10,239	10,923	10,923	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	4,310	4,264	3,692	3,672	3,672	
人件費の合計	475	457	470	470	470	
事業コスト合計(a)	15,994	16,082	14,401	15,065	15,065	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名					
部活動技術指導者派遣業務			対象名称(単位)	相模原市立中学校全27校		
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	15,994	16,082	14,401	15,065	15,065	
対象数	27	27	27	27	27	
単位あたり経費(円)	592,370	595,630	533,370	557,963	557,963	
前年度比		1.01	0.90	1.05	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	研修の実施率		指標式と指標の説明	研修実施数÷研修予定数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	2.0	3.0	3.0			
目標	2.0	3.0	3.0			
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	技術指導者派遣実施率		指標式と指標の説明	技術指導者派遣回数÷技術指導者派遣予定回数×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	92.0	92.0	96.3			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	92.0	92.0	96.3			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 複数校での合同部活動や、地域スポーツクラブ型への移行等も視野に入れて検討していく必要がある。			14 課題として認識されたこと 各学校毎に指導者の確保状態、実施状況にばらつきがある為、尚一層の環境、体制の整備が必要であろう。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				